

2022/09/30

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社

■自分の家からアバターで住宅展示場へ出かけよう！ [10/2.10/3 はデジタルの日]
メタバース住宅展示場に新しいコンテンツが誕生しました！

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：芳井敬一）は、コロナ禍で加速しているオンラインを活用した戸建住宅の接客や販売を強化するために、アバター（※1）を用いてお客さまと当社担当者がコミュニケーションを図りながら仮想空間上の住宅展示場を自由に見学できる「メタバース住宅展示場」（※2）を2022年4月28日から業界で初めて（※3）展開していましたが、デジタルの日（※4）に合わせて、更に進化した「メタバース住宅展示場」を2022年10月1日より公開します。



「メタバース住宅展示場」を公開し、数多くのお客さまにご来場いただき、様々な声をいただいております。以下、お客さまの声の一例です。

- ・ゲーム感覚で住宅展示場を内覧できるから非常に面白い
- ・バーチャル空間だが、CGもキレイで見学もしやすい
- ・わざわざ移動しなくても自宅で見学できるので楽
- ・色替えなどスムーズにできて、家のイメージが沸きやすい
- ・構造躯体も一緒に見れると嬉しい

コロナ禍になり、家づくりを考える方が事前にWEB上で情報収集を行い、メーカー選定をした後に具体的なアクションに移す傾向が高まりました。そのため、より気軽に自社の特長を体感いただけるコンテンツの充実が重要だと考えており、メタバース住宅展示場に限らず、お客様の情報収集を手助けするコンテンツ（「LiveStyle PARTNER/リブスタイルパートナー」など、※5）を更に進化させてまいります。

● 新しくご覧いただける「メタバース住宅展示場」のポイント

1. 構造躯体まで見学できる新機能
2. 各種シミュレーション機能の充実（外装・内装・設備など）
3. 複合型収益物件の展示場（1階店舗・2階賃貸・3階賃貸&オフィス・4階5階自宅）
4. メタバースおうち見学フェア（2022年10月1日～31日）は会員登録無しで
ご覧いただけます。

アバターで仮想空間上の住宅展示場が見学できる業界初の「メタバース住宅展示場」
今回公開する「メタバース住宅展示場」では5階建商品「skye（スカイエ）」が場所や時間
の制約なく、いつでもどこでも見学できます。



仮想空間ならではの各種シミュレーションや視点の変更（空を飛び俯瞰で見学、ペットの
目線での見学など）もでき、様々な角度から見学ができます。

1. 実際の現場では、見れないアングルで重量鉄骨の迫力ある骨組を確認できます。
2. 各種シミュレーション機能の充実（内装・設備・構造躯体など）

従前のメタバース展示場では、インテリアパターンの変更だけでしたが、仮想空間だから
できる様々なシミュレーション機能を追加しました。

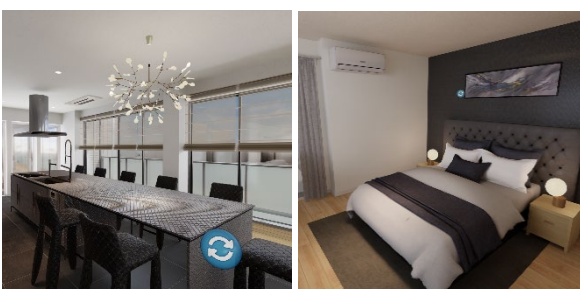
・外観



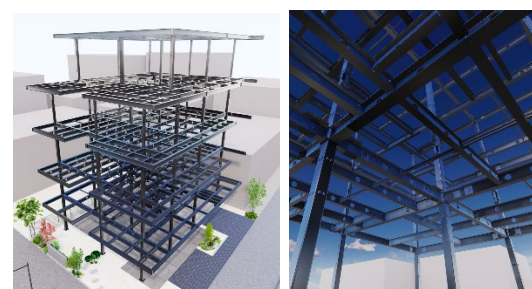
・リビング



・キッチン/主寝室



・構造躯体



3. 複合型収益物件の展示場（1階店舗・2階賃貸・3階賃貸&オフィス・4階5階自宅）

今回のメタバース住宅展示場では、主に都市部で多い収益を生み出せる併用住宅をご体感いただけます。ご自宅だけでなく、店舗やオフィス、賃貸住宅などが入っており、都市部での建替えをご検討されている方には非常に参考になるコンテンツです。

ご案内するスタッフも、相続対策などに精通したスタッフを配備し、お客さまのお困りごとと解決にお役立ちできるようにしてまいります。

下記より「メタバース住宅展示場：skye」を体験いただけます。

外観：https://studio55-production-1.shapespark.com/daiwahouse_nanba/

1階：https://studio55-production-1.shapespark.com/daiwahouse_nanba_1floor/

2階：https://studio55-production-1.shapespark.com/daiwahouse_nanba_2floor/

3階：https://studio55-production-1.shapespark.com/daiwahouse_nanba_3floor/

4階・5階：https://studio55-production-1.shapespark.com/daiwahouse_nanba_4-5floor/

構造：https://studio55-production-1.shapespark.com/daiwahouse_kouzou/

- ※1. インターネット上の仮想空間で動作するユーザー分身のこと。
- ※2. 株式会社 STUDIO55「Shapespark（シェイプスパーク）」にて制作。
- ※3. 当社調べ。
- ※4. デジタル庁が2021年より、社会全体でデジタルについて定期的に振り返り、体験し、見直す機会として「デジタルの日」を創設。2022年のテーマは「ふれよう！# デジタルのチカラ」とし、10月2日（日）、3日（月）を「デジタルの日」、10月を「デジタル月間」として設け、国民の皆様にデジタルにふれる“きっかけ”をつくる取組を推進。
- ※5. 「LiveStyle PARTNER」URL：<https://www.daiwahouse.co.jp/jutaku/lsp/index.html>

以上